



学校だより

令和4年5月31日

学校教育目標

6月号

ともに学び、創り出し、行動する子＝輝く自分 輝く鶴小＝

横浜市立 鶴ヶ峯小学校 (<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsurugamine/>)

考えて行動 マスクはいつ外す？

学校長 荻原 規彦

考えて行動

先日のテレビ朝会で、保健委員会から「廊下は歩きましょう」というお話がありました。子どもたちは廊下を走ってはいけないことは知っています。しかし、廊下を走ってお友達にぶつかったり、けがをしたりする子は後を絶ちません。梅雨に入って雨が多くなるとその数はさらに増えてきます。走るとどうなるのか考えればわかることですが、早く外に行き遊びたい、ぎりぎりまで遊んで大急ぎで教室に戻る子どもたちにとっては、残念ながら心のブレーキが利かなくなってしまうようです。今の世の中は「じっくり考える」ことが少なくなっているような気がします。子どもたちの遊びもじっくり考える囲碁や将棋より、瞬間的に反応することが求められるゲームの方が好まれます。

私は子どもたちに「考えて行動する」ことを期待しています。じっくり考えることを大切にしたいのです。考えたことが「腑に落ちた」時に、行動をコントロールすることができると思います。それは、今回の学習指導要領のポイントの一つである、「主体的で対話的な深い学び」にも繋がることです。子どもたちには「よく考える子」になって、校内の事故やケガが少なくなりたいです。



マスクはいつ外す？

学校では現在、給食の時、音楽のリコーダー、鍵盤ハーモニカ演奏時以外はマスクを着けています。マスクを外した時にはおしゃべりはしないという指導を続けています。ですから給食の時間は学校中がシーンと静まり返っていて子どもたちはよく頑張っているなあと感心しています。マスクを忘れて保健室に取りに来る子どももほとんどなくなり、ご家庭のご協力に感謝申し上げます。

夏が近づくにつれて気温が上がり、熱中症も心配されるようになってきました。校庭では体育の途中で水分補給をする、昇降口のミストで体を冷やす、体育館では必要に応じて昨年設置されたエアコンも上手に使うなどの対応策を講じながら、熱中症の予防に努めていきます。暑さ指数（WBGT）が高くなればマスクを外すなどの対応をしていきます。

世の中では、徐々に規制が緩和され、マスクをしなくてもよいケースが示されはじめました。そこには「十分な身体的距離が確保できる」「会話の有無」など判断を伴うものが多く、また、マスクを外すことを不安に思う子どもにも配慮するようにもあり、集団生活を行う学校としては一律の判断は難しいところです。本来マスクは自分や周りの人の身を守るためのものです。その本質を見据えながら、ガイドラインに沿って本校の子どもたちに合わせた対応をしていきたいと考えています。